



ちばりは ニュース

2021年8月発行 第45号



〒266-0005

千葉市緑区誉田町 1-45-2

TEL 043-291-1831 FAX 043-291-1857

ホームページアドレス

<http://www.chiba-reha.jp/>



千葉県千葉リハビリテーションセンターの理念と基本方針

理 念

「誰もが街で暮らすために」

Everybody will be in own town

—私たちは障害児・者の自立と社会参加に向けて良質な医療と福祉を提供します—

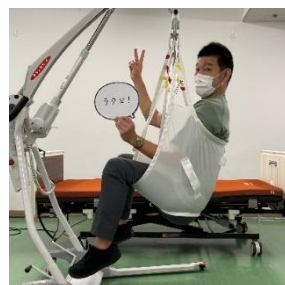
基本方針

- 利用者の意思と個性を尊重し、専門職の協働による包括的リハビリテーションを実践します。
- 日々の研鑽により自らの人間性と専門性の向上を図り、安全で質の高いサービスを約束します。
- 地域の各機関との連携を図り支援し、また研究・開発や専門職育成に努めます。

センターで進めている移乗用リフトの活用

1. 移乗用リフトをご存知ですか？

ベッドから車いすへの乗り移りや車いすからトイレへの乗り移り等の介助に利用する福祉用具です。ハンモックのようにシートを使って吊るし上げるタイプや立ち上がりをサポートするタイプがあります。



2. リハビリテーションと移乗用リフト

リフトの利用目的は、介護負担軽減だけではありません。適切なリフトの利用はご本人の身体の負担軽減とより良い暮らし創りにつながります。

①人手が必要



②転落の危険性



③介助してもうまく座れない



それ、リフトで介助したら 全部解決できるかも・・・



②ご本人の転落からの骨折リスクを低減！

大変な移乗介助を人力で行うと転落させるリスクがありますが、リフトは大幅にそのリスクを軽減します。

①ご本人の離床機会が増える！

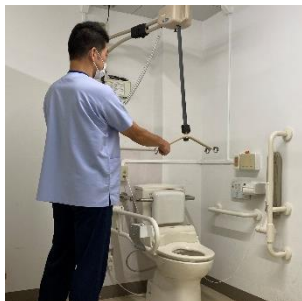
ご自宅に帰ってからもリフトの利用により、1人で介助できる可能性が広がり、離床機会を確保できます。

③ご本人が車いすに“キチンと座れる！”

せっかく身体に合わせて選んだ車いすでも、キチンと座れなかったら褥瘡（床ずれ）のリスクにもなります。リフトでは一発で“キチンと”座れます。

3. 当センターの取り組み

センター内では合計 22 台のリフトがあり、各病棟でも活用しています。入院中からの利用により、退院後の暮らしの選択肢を広げます。



トイレ用リフト



ベッド固定リフト

項目	内容
1. 搬送前	① 搬送する患者の身体状況を確認する。 ② 搬送する患者の身体状況を確認する。 ③ 搬送する患者の身体状況を確認する。
2. 搬送中	① 搬送する患者の身体状況を確認する。 ② 搬送する患者の身体状況を確認する。 ③ 搬送する患者の身体状況を確認する。
3. 搬送後	① 搬送する患者の身体状況を確認する。 ② 搬送する患者の身体状況を確認する。 ③ 搬送する患者の身体状況を確認する。

標準使用手順



リフト指導場面

※問合せ先：地域支援センター 地域リハ推進部

せき損・リハケア、「明日からできるシリーズ」研修会

当センターでは開設以来、脊髄損傷者のリハビリテーションを専門領域のひとつとして実施してまいりました。脊髄損傷支援の発展のために、これまで培ってきた支援の取り組みの紹介や、各施設との連携強化の機会として研修会を開催しています。

せき損・リハケア研修会

「頸髄損傷不全四肢麻痺」・「胸髄損傷」等のリハビリテーションをテーマに毎年開催しています。医師、理学療法士、作業療法士、看護師、社会福祉士が、病態の理解からリハビリテーション・ケアの実際、社会支援について幅広く紹介します。職種別の情報交換会で施設間交流の機会も設けています。

開催履歴

- ・第1回 2020年6月19日（土）Web開催 参加者：90名
テーマ「胸髄損傷者に対するリハビリテーション」
- ・第2回 2020年12月19日（土）Web開催 参加者：43名
テーマ「頸髄損傷不全四肢麻痺に対するリハビリテーション～高齢者を中心に～」
- ・第3回 2021年6月29日（土）当センター 大ホール 参加者：66名
テーマ「頸髄損傷不全四肢麻痺に対するリハビリテーション～高齢者を中心に～」

※次回は2022年6月ごろを予定しています。



「明日からできるシリーズ」研修会

今後の開催予定（全てWeb開催）

- ・2021年10月8日（金） 明日からできる頸髄損傷の作業療法
- ・2021年12月3日（金） 明日からできる脊髄損傷の評価
- ・2022年2月4日（金） 明日からできる頸髄損傷の看護

※申し込み方法など決まり次第、当センターHPなどでご案内いたします。

